

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和6年3月19日
タイトル	排水機場操作員感謝状贈呈式
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和6年3月10日（日）福山市役所3階大会議室において、福山市による排水機場操作員感謝状贈呈式が開催されましたので取材しました。

福山市では、平成30年7月に発生した西日本豪雨災害により甚大な浸水被害が発生しました。

浸水被害を受けた地域を対象とした「抜本的な浸水対策」を国、広島県、福山市、土地改良区が連携して協議し5年間で172の事業が集中的に実施されました。

水土里ネット福山が所有する4つの排水機も福山市の財源補助によりポンプのオーバーホールやエンジン更新工事を施工しました。

福山市では、浸水対策5ヶ年計画が今年度で完了する見込みとなったことから、豪雨災害時から今日まで排水機の操作にご尽力された53施設の操作員112人、運転管理委託4社へ感謝状を贈呈されることとなりました。

感謝状贈呈式は、来賓に福山市自治会連合会 河上正次副会長、深安郡神辺町土地改良区 久川廣昭理事長、福山市土地改良区 杉原郁充常務理事の臨席のもと、操作員65人、運転管理委託3社が出席され開催されました。

枝広直幹市長より「排水機場は浸水被害を未然に防ぎ市民の生命・財産を守るために必要不可欠な施設であり、操作に従事される皆様は、日頃より排水機場の点検等の適切な維持管理はもとより大雨時には昼夜をとわず長時間の操作により浸水被害防止にご尽力いただき心より感謝申し上げます。」と挨拶されました。

感謝状の贈呈では、枝広市長から操作員お一人おひとりに感謝の気持ちを伝えられ感謝状を手渡されました。



市内の多くの排水機場で水土里ネット福山の組合員が「ふるさと」を浸水被害から守るという献身的精神で排水機操作に従事しておられます。贈呈式に臨まれ、操作員としての責任感を新たにしておられるようでした。贈呈式の後には晴れやかな表情で記念撮影が行われました。